

# 平成30年度 決算見込み

平成30年度の決算見込みがまとまりましたので、お知らせします。  
問い合わせは、財政課財政担当（☎内線527）へ。

## 平成30年度に実施した主な事業

次の事業は、「桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる主な事業です。

### 地域の資源を活用した魅力ある雇用の創出



複合木材市場

- 複合木材市場整備支援  
4,253万円
- 空き店舗活用による新店舗開設支援・  
創業促進  
714万円

### 移住定住の促進・地域の活性化



水沼定住促進住宅

- きりゅう暮らし応援事業  
（住宅取得応援助成、住宅リフォーム助成、  
空き家活用助成、空き家除却助成）  
3億2,838万円
- 黒保根町水沼定住促進住宅整備  
1億4,197万円
- 広域周遊観光促進、赤城山観光振興  
1,599万円

### 将来を見据えたまちづくり



市民体育館完成予想図

- スポーツ施設の整備  
（市民体育館、陸上競技場）  
4億2,697万円
- 保健・医療体制の強化  
（がん検診、若年層を対象とした検診、  
医師確保）  
1億6,121万円

### 結婚・妊娠・出産・子育て



中学生海外派遣での  
ホストファミリーとの交流の様子

- 桐生ならではの特色ある教育  
（サイエンスドクター、未来創生塾支援、  
黒保根町国際理解推進）  
1,420万円
- 中学生海外派遣  
（姉妹都市アメリカ合衆国コロンバス市）  
492万円

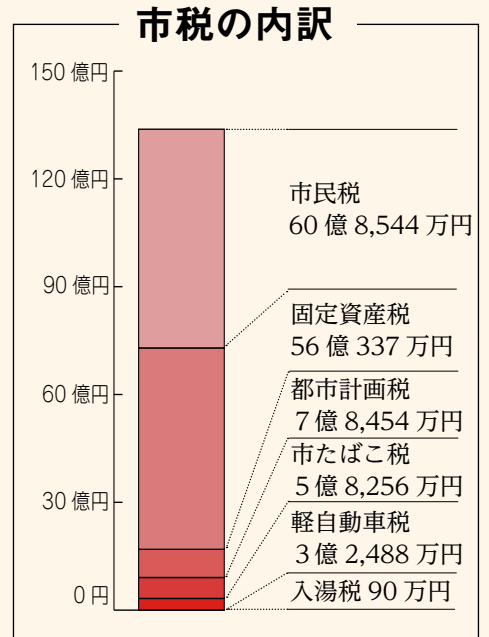
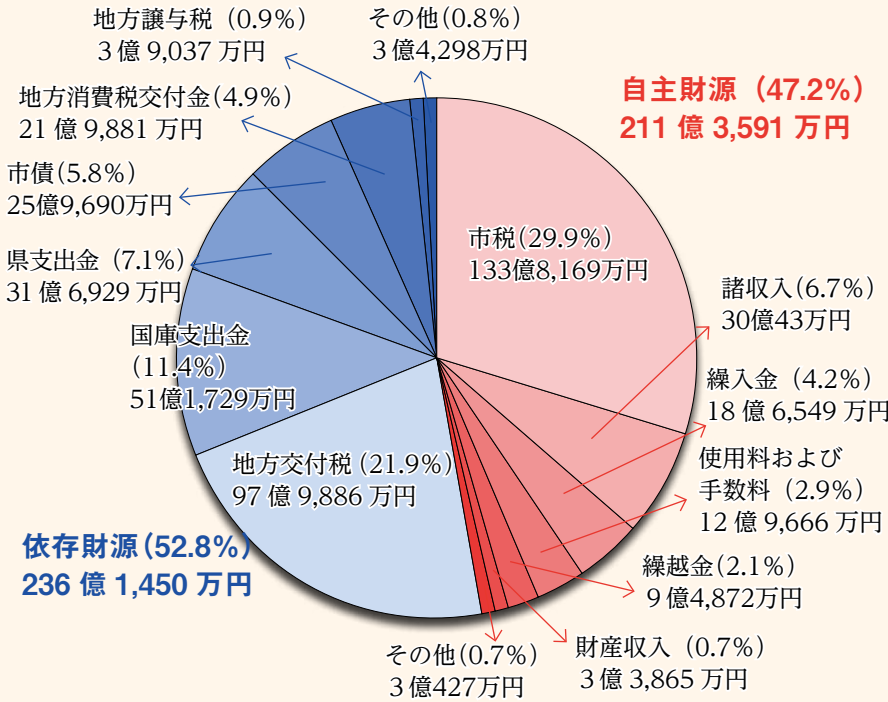
# 一般会計

一般会計の決算見込みは、歳入が 447 億 5,041 万円、歳出が 421 億 7,394 万円で、歳入から歳出を引いた差額の 25 億 7,647 万円は、令和元年度への繰越金や基金への積み立てとなります。

## 歳入 447 億 5,041 万円

歳入は、市税など市独自の収入財源である「自主財源」と、地方交付税や国・県支出金などの「依存財源」に分けられます。

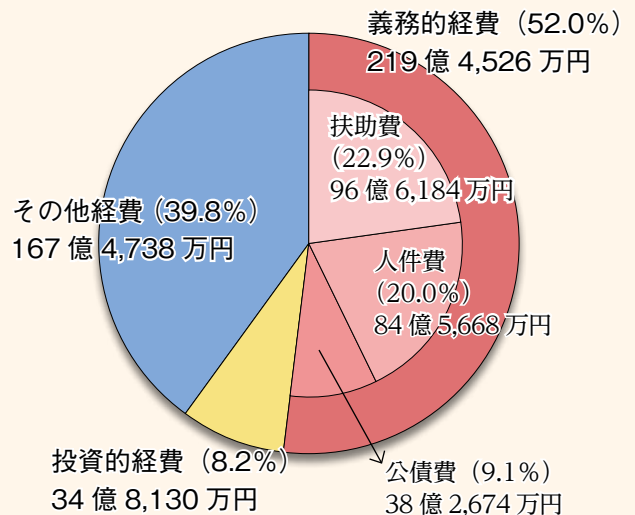
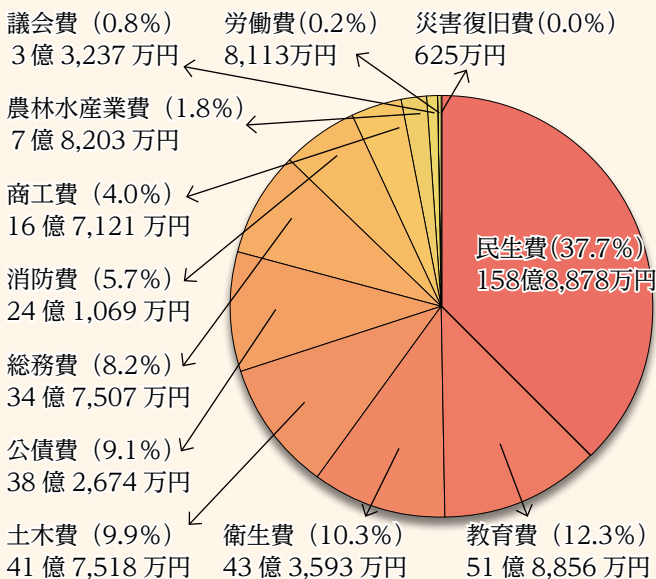
円グラフのとおり、歳入全体の 52.8 パーセントが依存財源となっており、依存財源に頼らざるを得ない状況となっています。



## 歳出 421 億 7,394 万円

**目的別** 円グラフのとおり、福祉関係に使われている民生費が歳出全体の 37.7 パーセントを占め、最も多くなっています。

**性質別** 円グラフのとおり、義務的経費は、歳出全体の 52.0 パーセントとなっています。また、公共施設の建設事業などに要する投資的経費は歳出全体の 8.2 パーセントとなっています。



※ 1 万円未満は、四捨五入。( ) 内は、構成比。各グラフ・表中の数字は、端数処理してあります。

# 特別会計

	歳入 (内、一般会計繰入額)	歳出
学校給食共同調理場事業	7億3,889万円 (3億4,702万円)	7億3,889万円
国民健康保険事業	124億6,991万円 (10億6,052万円)	122億9,610万円
下水道事業	31億6,089万円 (12億5,370万円)	31億6,075万円
介護保険事業	133億7,626万円 (18億2,338万円)	130億1,125万円
農業集落排水事業	2億6,272万円 (2億1,688万円)	2億6,272万円
住宅新築資金等貸付事業	1,289万円 (1万円)	180万円
新里温水プール事業	1,919万円 ( - )	1,591万円
発電事業	2億2,719万円 ( - )	1億8,314万円
後期高齢者医療事業	15億8,810万円 (4億7,356万円)	15億8,705万円
合計	318億5,604万円 (51億7,507万円)	312億5,761万円

※1万円未満は、四捨五入

# 水道事業会計

平成30年度における水道事業収益は21億167万円、一方、水道事業費用は、17億7,854万円で、差引純利益は3億2,313万円となり、前年度と比較して10.9パーセント減少の見込みです。

なお、この純利益は、浄水場をはじめとする老朽化した各施設の整備や水道管の交換のほか、借入金の返済などに充てていく予定です。

## 収益的経費

収益	21億167万円
費用	17億7,854万円

## 建設改良事業

財源	18億6,257万円
支出	18億6,257万円

## 財産の状況

資産		負債および資本	
固定資産	204億2,550万円	自己資金ほか	169億1,208万円
		企業債	59億8,589万円
流動資産	70億3,047万円	引当金ほか	45億5,800万円
計	274億5,597万円	計	274億5,597万円

※1万円未満は、四捨五入

## 市有財産の状況

平成31年3月31日現在  
(水道事業会計を除く)

土地	10,735,266㎡
建物	743,535㎡
有価証券	4,794万円
基金	129億7,780万円
(基金の内訳)	
財政調整基金	38億3,915万円
その他の基金	91億3,865万円
※1万円未満は、四捨五入	

## 市債残高の状況

平成31年3月31日現在  
(水道事業会計を除く)

臨時財政対策債	205億4,280万円
下水道債	145億2,100万円
土木債	45億472万円
教育債	38億2,473万円
その他	67億9,529万円
※1万円未満は、四捨五入	

## 市民1人・1世帯当たりの金額 (一般会計)

### 使ったお金

市民1人当たり	37万8,938円
1世帯当たり	84万7,138円

### 納めたお金 (市税、使用料および手数料)

市民1人当たり	13万1,887円
1世帯当たり	29万4,841円

※平成31年3月31日の人口(111,295人)と世帯数(49,784世帯)により算出

## 用語解説

**市税**…市民の皆さんから納めていただいた市民税や固定資産税、軽自動車税などの税金

**地方交付税**…地方自治体が一定水準の行政サービスを提供することができるよう国から交付されたお金

**国庫支出金**…市が行う特定の事業に対して国から支出されたお金

**県支出金**…市が行う特定の事業に対して県から支出されたお金

**繰入金**…基金(市の貯金)や特別会計から一般会計に繰り入れられたお金

**諸収入**…他市から受けたごみ処理や消防などの業務による収入や貸付金の元金利息収入など

**市債**…国や銀行などから借り入れたお金

**総務費**…市役所や財産の維持管理、戸籍の管理や税金の徴収などの費用

**民生費**…福祉の充実や子育て支援などの費用

**衛生費**…環境保全や疾病予防、健康増進などの費用

**土木費**…道路や河川、公園などの整備・維持管理費用

**教育費**…学校教育、生涯学習の充実、文化スポーツ振興などの費用

**公債費**…これまでに借り入れた市債を返済する費用

**扶助費**…児童、高齢者、障害者、生活困窮者などの支援に要した費用

**義務的経費**…支出が義務付けられていて、任意に削減できない経費

**投資的経費**…社会資本の整備に使われた経費